

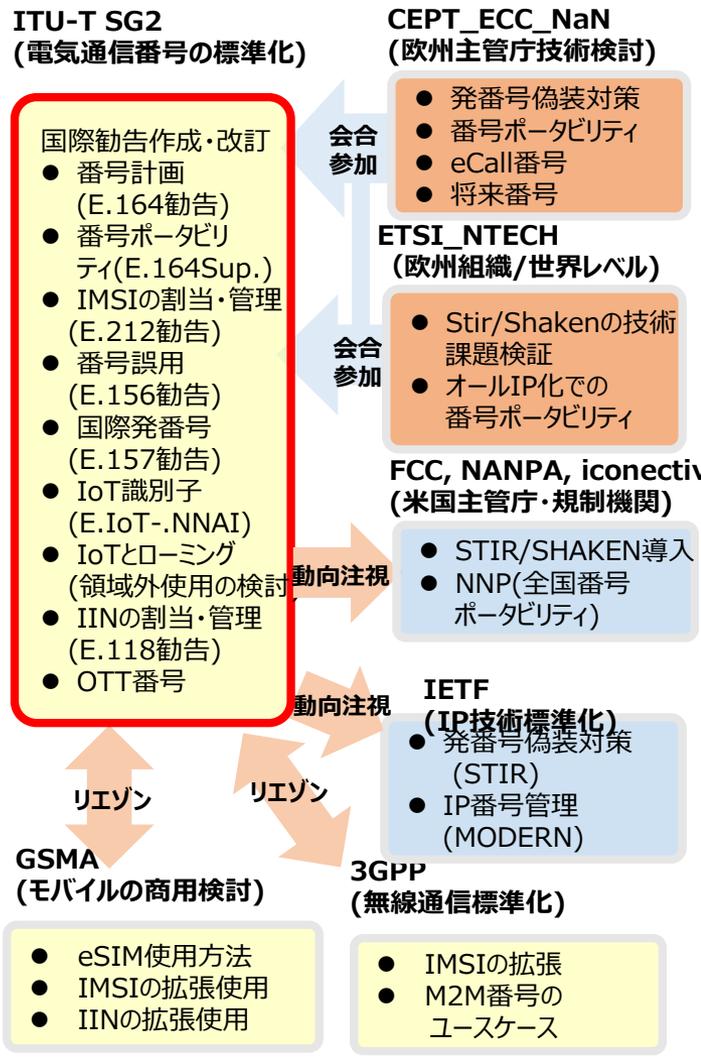
中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

番号計画専門委員会

1/3

| | | | |
|------------------|--|-------|-------------|
| 企画戦略委員 | 上茶 雄 (NTT) | 登録委員数 | 19/(1グループ)6 |
| 正副委員長 リーダー・サブ | 委員長：大久保 知明 (NTT)、 副委員長：井上 統之 (KDDI) | 図解 | |
| 活動の目的・意義 | <p>今後のIoT/M2Mサービスの進展とグローバル化、ネットワークのIPマイグレーションの進展等への番号計画の柔軟な対応と新規・改訂勧告の策定を、関連する分野の専門組織と最大限の連携を行いながら進めることにより、今後のさらなるサービスとネットワークの発展に向け有限な番号リソースが有効に活用されるように進める。</p> | | |
| 活動する上での課題 | <p>IoT/M2M用の番号計画、IMSIの割当管理、番号ポータビリティ、番号誤用と発番号偽装対策、IIN(Issuer Identifier Number)の割当、番号逼迫対策、地理的識別性、将来番号等の課題が挙げられる。</p> | | |
| 関連のSDGsゴール |  | | |
| 標準化方針 | <ul style="list-style-type: none"> 国内動向に関連するITU-T SG2に加え、関連するETSI NTECH、IETF、ECC-NaN、欧州及び米国の番号主管庁・規制機関等の動向を見極め、番号関連標準の作成、修正等の必要性について判断を行う。 上記判断により、必要に応じてTTCドキュメント作成に着手する。 | | |
| 国内外標準化団体動向 | <ul style="list-style-type: none"> ETSI NTECHでは、網のIP化における番号ポータビリティ方式などの課題の検討が幅広く実施されてきた。 IETFでは、発番号偽装への対策方法を検討するSTIR (Secure Telephone Identity Revisited) WGにて、技術的な議論が継続されている。 欧州郵便電気通信主管庁会議(CEPT)の配下ECCの番号検討組織であるNaN (Numbering and Networks)では、欧州各国の、番号誤用と発番号詐称の課題、網のIP化に向けた番号ポータビリティなどの議論が行われ、今後の各国の取り組み方針(Best Practices)がまとめられている。また、Numbering Naming and Addressingの長期的展開が検討され、これに向けた課題が検討されている。 米国の番号主管庁・規制機関であるFCC, NANPA, iconectivでは、発番号偽装対策のSTIR/SHAKEN導入、NNP(全国番号ポータビリティ)、番号逼迫対策などの課題が幅広く検討されている。 E.164番号に関する活発な検討が行われている欧州ECC-NaNとの合同セミナーを2019年度に実施。今年度も、電気通信番号に関する検討の相互理解を深めるとともに、日本国内での普及活動を実施する。 | | |



| <p>重点取り組みと成果</p> | <p>①今後重要なもの、影響のあるものとして、番号ポータビリティ、E.212勧告改訂、番号誤用・発番号勧告改訂、IoT識別子、IoTとローミング（領域外使用）、E.118勧告に加え、欧州で推進されているeCallへのネットワーク側の対処の促進の議論等があげられる。これらについて、H30年度内の第4回G2会合(H31年2月)に引き続き、第5回G2会合(H31年11月)の動向を注視し報告するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施。また、引き続き、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等を通じたアップストリーム活動を実施。</p> <p>②SG2のチュートリアル資料のTR化について、29,30年度制定した版の続編となる完成版について、年度内に出版のスケジュールで進め、また、セミナーを実施するとともに、適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿を行い、外部への普及を行った。</p> | | | |
|---|---|--|--|-----------|
| <p>主な活動項目</p> | <p>概況指標</p> | <p>2019年度目標（当初計画時）</p> | <p>2019年度実施状況</p> | <p>記事</p> |
| <p>① アップストリーム 他団体との連携</p> | <p>寄書数</p> | <p>2件</p> | <p>3件</p> | |
| | <p>外部会合への 参加・連携状況</p> | <p>SG2：11月会合 ETSI_NTECH会合 ECC-NaN会合(5月、11月) SG2会合（H30年2月）の報告</p> | <p>SG2：ラポータ会合（9－10月） SG2：12月会合 ETSI_NTECH会合 ECC-NaN会合(5月、11月)</p> | |
| <p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p> | <p>JJ標準</p> | <p>0件</p> | <p>0件</p> | |
| | <p>TS/TR/SR</p> | <p>0件/1件/0件 ※SG2のチュートリアル資料のTR化について、 29,30年度制定した版の続編として、年度内 に出版のスケジュールで進める。</p> | <p>0件/1件/0件 ※SG2のチュートリアル資料のTR化について、 29,30年度制定した版の続編として、年度内 に出版のスケジュールで作業中。</p> | |
| <p>③ ダウンストリーム</p> | <p>数</p> | <p>0件</p> | <p>0件</p> | |
| <p>④ プロモーション 普及推進</p> | <p>セミナー、記事投稿、 講演会</p> | <p>セミナーを年度内に実施の予定</p> | <p>9月11日に、「欧州CEPT_ECC-NaNとの電気 通信番号に関する合同セミナー」を開催。 （参加者は39名）</p> | |
| | | <p>適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿 を予定</p> | <p>TTCLレポート7月号にSG2会合の記事を寄稿 ITUジャーナル6月号にSG2会合の記事を寄稿</p> | |

重点取り組み

① 今後重要なもの、影響のあるものとして、番号ポータビリティ、E.212勧告改訂、番号誤用・発番号勧告改訂、IoT番号・識別子、IoTとローミング(領域外使用)、E.118勧告、OTT(Over The Top)番号の議論等があげられる。これらについて、2020年度内の第6回G2会合(2020年6月)に引き続き、その後の会合(時期未定)の動向を注視し報告するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施する。また、引き続き、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等を通じたアップストリーム活動を実施する。

② 2019年度は、欧州ECC-NaNとの合同セミナーを実施、2020年度以降も、他地域への拡大や国内でのセミナー等により電気通信番号に関する検討の相互理解を深めるとともに、日本国内での番号方式に関する普及活動を実施する。また、適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿を行い、日本国内への普及を行う。

| 主な活動項目 | 概況指標 | 2020年度目標（当初計画時） | 2020年度実施状況 | 記事 |
|--------------------------------------|-------------------|--|------------|----|
| ① アップストリーム 他団体との連携 | 寄書数 | 2件 | - | |
| | 外部会合への 参加・連携状況 | <ul style="list-style-type: none"> ECC-NaN全体会合(5月、10月) ITU-T SG2：6月会合 ECC-NaN番号ポータビリティ/スイッチング・番号への信頼PT会合(6月) 米国番号規制組織(iconectiv, NANPA, Verizon等)との意見交換 ECC-NaN将来番号PT会合(9月) IETF108(7月：マドリッド)：未定 | | |
| ② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート | JJ標準 | 0件 | | |
| | TS/TR/SR | 0件/1件/0件 ※実施候補：ECCLレポートの翻訳（候補：番号への信頼） | 0件/0件/0件 | |
| ③ ダウンストリーム | 数 | 0件 | | |
| ④ プロモーション 普及推進 | セミナー、記事投稿、 講演会 | 番号政策・将来番号方式等に関するセミナー等の企画によるプロモーションの実施 | | |
| | | 適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を予定 | | |